

歯科・歯科口腔外科

概要

部長：竹 信 俊 彦

スタッフ：4名 専攻医：3名 初期研修医3名

令和元年度 新規入院患者数：467人

(顎変形症：104例、顎変形症術後・骨折術後の抜釘：84例、唾液腺関連：
56例、顎顔面骨折：15例、顎骨嚢胞84件)

新規外来患者数：4,925人

外来手術件数：878件

研究活動・学会発表：海外40, 国内27

論文掲載：和文2, 英文2

特徴

1. 診療科数34の総合病院の中で口腔外科疾患を中心に幅広い症例が経験できる。
2. 大学病院に匹敵する多様な症例を数多く経験することができるメリットがある。特に顎変形症、唾液腺疾患、顎顔面外傷、救急対応などの症例については多くの症例を経験できる。
3. 日本口腔外科学会認定指定研修機関（日本口腔外科学会指導医2名・専門医3名・認定医3名在籍）であるので、研修医に引き続き専攻医の間で口腔外科認定医の資格を得ることができ、更に専門医資格に向けた実績を積むことができる。また日本口腔科学会・日本顎顔面インプラント学会指定研修機関でもある。
4. 希望により頭頸部外科・形成外科研修（各1ヶ月間）ができる。

一般目標

1. 口腔顎顔面領域の疾患に対する医療にとどまらず、顎口腔の果たす役割が理解できる、医師と対等に働くことができる口腔外科医として、オールラウンドな能力を習得すること。
2. 他の医療従事者と協調して診療にあたり、医療チームの一員として、またリーダーとしての自覚を育成すること。
3. 日本口腔外科学会認定医を取得し、さらに専門医試験受験資格（論文投稿掲載3本以上は必須、学会発表）を取得すること。

行動目標

- 1年目：** 医療面接・基本的身体診察を習得する。
 口腔外科にとって必要な関連医学知識の履修
 臨床検査値の評価
 画像情報（CT、MRI、核医学検査、超音波検査）の評価
 応急処置、高頻度口腔外科手術
 日本口腔外科学会および関連学会への発表および論文 1 編
- 2年目：** 顎炎ないし蜂窩織炎手術、口腔並びにその付近に発生する嚢胞、腫瘍の摘出手術
 などの診断、治療ができる
 日本口腔外科学会および関連学会への発表および論文 2 編
- 3年目：** 顎骨骨折手術、顎変形症関連に対する手術
 口腔並びにその付近に発生する嚢胞、腫瘍の手術
 手術症例については大小 100 例以上の執刀者となることを目標とし、2年次、3年次の目標項目 2) に挙げる手術 20 例以上を含むものとする。
 希望により頭頸部外科・形成外科研修（各 1 ヶ月間）
 日本口腔外科学会および関連学会への発表および論文 2 編

週間スケジュール

	月	火	水	木	金
				病棟回診 (8時30分)	
午前	初診 外来手術	初診 入院手術	初診 外来手術	初診 外来手術	初診 入院手術
午後 [専門外来]	外来手術 〔顎変形症・歯槽骨再生外来〕	入院手術	入院手術	外来手術 頭頸部外科 外来	[インプラント] [全身管理] 入院手術
		カンファレンス	研修医勉強会	研修医勉強会	研修医抄読会

見学等問い合わせ先

竹 信 俊 彦 : takenobu@kcho.jp